



令和3年度

小平市民活動支援センターあすぴあ 事業報告

概要版-1

★市民参加で成り立つあすぴあ事業★

| | |
|--------|----------------------|
| イベント部会 | パワーアップ講座や交流サロンの企画・実施 |
| 広報部会 | 「あすぴあ通信」の取材・編集・発行 |
| フェスタ部会 | 元気村まつりの企画・運営 |

あすぴあのキャッチコピー



- ◆令和2年度から続くコロナ禍が2年を超えました。Zoom習得を支援する場を4月から定期的に設けると同時に、会場参加とオンライン参加の併用（いわゆるハイブリッド式）でイベントを実施することに取り組み、「誰一人取り残さない」ための試みを重ねました。そのための機材も揃えて団体にも貸し出しました。
- ◆元気村まつりは、オンラインのみでの開催が2年目になり、参加団体も実行委員会側も慣れてきました。昨年度のまつりの感想を元に動画作成の講座を企画し、事業間の連携が図られました。
- ◆3年目に入った「こだいら人財の森」事業ですが、このような状況では個人登録も停滞し、登録者間の交流などの動きも作り出せず、マッチングも捗々しくありませんでした。この事業の周知に力をいれようにも難しい中でしたが、年度末に落合恵子さんのオンライン講演会を組み込んだ事業説明会を開催し、定員100名を上回る申込みを得ました。
- ◆コロナ禍中の昨年度に比べて団体の活動が活発に行われてきたとはいえ、未だ休会中の団体や会議室利用が少なくなった団体、あすぴあ利用登録取り下げや「むすぶ」掲載取りやめの連絡も入っています。会員の高齢化問題も加わり、市民活動の風景がコロナ前と同じになることは難しいのではないかと感じる一方で、新しいコミュニティができる動きも散見されるようになりました。情報のアンテナを広く張り巡らせ、人と人をつなぐ機能を充実させたいと思います。

第1回パワーアップ講座（3回連続）
「楽しいプレゼン動画を作ろう！」



第2回パワーアップ講座
「ウェブ会議アプリZoom初心者向け講座」



●情報の収集および提供

- ・チラシやポスター等最新情報の配架・掲示
- ・補助金・助成金等の情報収集および提供
- ・閲覧用図書・資料の整備

第1回交流サロン
「市民活動における「共に生きる社会」の実現について考える〜障がいのある人も無
い人も尊重し支え合う社会の実現」

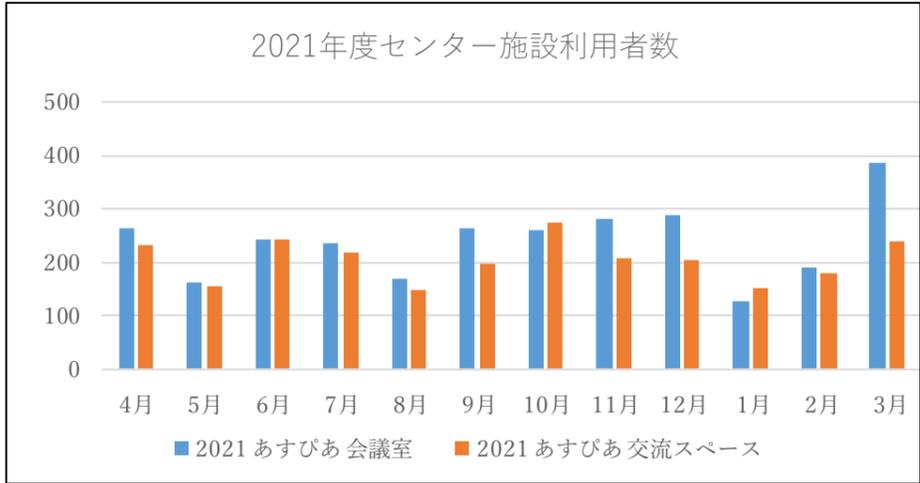
●問合せ・相談等

- ・1年間の件数 85件
- ・福祉の内容および市役所の多様な課からの相談の増加

市民活動
なんでも相談



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度から引き続き9月30日（木）まで夜間を休館（4月26日～5月11日は全面休館）



●広報活動

- ・元気村まつり特設サイト開設
- ・イベントと連動したホームページのタイムリーな更新
- ・ホームページに連動したFacebookの更新
- ・月1回のメールマガジンの発行
- ・あすぴあの認知度アップ、元気村まつりや人財の森の宣伝のために、市役所ロビーで10月に、東部・西部出張所で3月に出張広報アクションを実施



●あすぴあ通信

毎号4,000部、年5回発行、市内公共施設等に配架。

●地域連携活動等

- ・中央公民館事業企画委員会に参加
- ・「忘れない3.11展」実行委員会に参加
- ・AKVS(地域福祉活動および市民活動の中間支援に関する情報連絡会)に参加
- ・市民協働主催事業に参加
- ・学園西町地区および学園東町地区地域連絡会等に参加
- ・自治会地域懇談会に参画
- ・都内の市民活動支援センターとの情報交換・交流の実施
- ・嘉悦大学プロジェクト企画実践「地口行灯でギネス世界記録に挑戦」に協力



新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しました。(但し、途中で一部制限を緩和)

- ・予約時および利用当日に感染防止チェックシートの提出
- ・マスク着用とアルコール消毒液での手指消毒
- ・感染がわかった場合に備えて参加者の名前と連絡先の把握
- ・会議室利用人数の制限とソーシャルディスタンスおよび換気の徹底
- ・交流スペースの利用制限（3密および長時間の滞在は避ける、人数制限もあり）
- ・ドリンクコーナーの当面の中止
- ・印刷作業の人数制限および貸出備品の利用制限
- ・アクリル板の貸し出し



收音マイク&周辺機器



ミーティングオウル



大型モニター

コロナ禍対策としてオンライン機器の充実

●オンラインの定期的な支援

- (協力：指定管理者内のグループ「オンラインサポート研究会」)
- ・4月からZoom利用支援会を月2回定期的実施。
- ・内容：アプリインストールおよび参加の仕方、主催方法
- ・対象：当初は登録団体限定、年度半ば以降は一般市民に広く周知。
- ・1年間で計30名参加。